

平成30年度  
自己評価報告書

岡山自動車大学校

## 1 学校の教育理念、校訓

自律創生・信念貫徹・共存共栄

## 2 具体的な教育目標、スローガン、育成人材像

### ①具体的な教育目標・方針

- ・自動車整備士登録試験一級小型、二級ガソリン・ジーゼル三種目の100%合格
- ・関連業界への100%就職
- ・時代・企業ニーズへの対応
- ・各種関連資格取得
- ・基礎学力の修得・補填
- ・基礎的な生活習慣・社会常識・マナー・規範教育の徹底
- ・国際感覚の涵養
- ・学生一人一人の個性・能力に適合したきめ細やかな指導

### ②具体的なスローガン

- ・学生満足度の向上・保護者信頼度の向上

### ③具体的な育成人材像

- ・セールスも出来るコミュニケーション能力・人間性を兼ね備えた真の整備士の育成
- ・将来の企業幹部候補
- ・時代の変化に対応できる自動車整備士の育成
- ・国際性を兼ね備えた自動車整備士の育成

### 3 評価項目の達成及び取組状況

#### (1)教育理念・目的・人材育成像

評価項目	適切・・・4, ほぼ適切・・・3, やや不適切・・・2, 不適切・・・1
・教育理念・校訓は定められているか	④ 3 2 1
・教育理念・校訓は周知徹底・実践されているか	④ 3 2 1
・具体的な教育目標・方針は定められているか	④ 3 2 1
・具体的な教育目標・方針は周知徹底・実践されているか	④ 3 2 1
・具体的なスローガンは定められているか	④ 3 2 1
・具体的なスローガンは周知徹底・実践されているか	4 ③ 2 1
・具体的な育成人材像は定められているか	④ 3 2 1
・具体的な育成人材像は周知徹底・実践されているか	4 ③ 2 1

#### ①学校の基本的な考え方および現状

校訓は学校法人第一原田学園全体の校訓であり、自動車整備士養成機関のみならず教育機関として相応しいものであると考えている。校訓・教育目標・育成人材像・スローガン等は全てではないが学校案内にも明記しており、入学前からの伝達にも努めている。また入学後すぐに実施される新入生ガイダンスでは生活の心得(学則・細則・生活指導等)に沿ってこれらの説明・解説をするとともに、生活習慣、マナー、規範等の周知徹底にも努めている。平成29年度より教育理念・スローガンを全教室に掲示し周知徹底に努めている。教育目標の第一は一級小型自動車整備士資格、二級自動車整備士資格の100%合格である。そしてその資格を生かせる関連企業への完全就職も付随するものとする。

入学後新入生対象に基礎学力テスト(主に数学)を実施し基礎学力の把握と補填のための補習を行っている。在学中取得を目標とする資格に関しては放課後無償での特別授業を実施し資格取得率向上に努めている。1年次には担任による社会学の授業を通じ、社会人としての整備士に必要な基礎的な心構え、また販売理論の授業において業界知識とマネージメントの基礎を教育している。

そして全国自動車大学校整備専門学校協会(JAMCA)のソーシャル検定を全員受験することで既得知識の確認も出来る。

国際性については全員必須の英会話の授業、そして開校以来二年次に実施しているアメリカ西海岸研修旅行への参加により涵養出来るよう取り組んでいる。

学生満足度向上を達成すべく個々の学生の把握については入学後すぐに実施する担任との二者面談、新入生ガイダンスにおける性格適性検査により性格理解をはかっている。

保護者の信頼度向上のため1年次の保護者参観日、また毎年10月には学校開放デーを設け、普段の校内での授業状況を見学していただくようにしている。

#### ②今後の課題・改善点

第一の教育目標である自動車整備士登録試験100%合格について二級に関しては18年間維持しているが一級に関しては26年度～29年度の4年間100%を逃す結果となっている。平成29年度には指導体制を見直し、改善に取り組んだにも関わらず100%合格が達成できなかった。平成30年度には再度指導体制を強化し一丸となって全員合格に向け取り組んだ結果17名受験し17名合格し再び100%合格を達成することが出来た。ただ合格率向上は全国的な結果となり問題難易度の変化も大きな要因である。今後は難易度の変化に関わらず常に100%合格が達成できるよう更なる指導体制の強化が必要であるとする。

## (2) 学校運営

評価項目	適切・・・4, ほぼ適切・・・3, やや不適切・・・2, 不適切・・・1
・学則は適切に定められているか	④ 3 2 1
・学則は周知徹底されているか	④ 3 2 1
・年間事業計画は定められているか	④ 3 2 1
・意志決定システムは整備されているか	④ 3 2 1
・校務分掌は適切に定められているか	④ 3 2 1
・校務分掌は効果的に機能しているか	4 ③ 2 1
・教職員の情報伝達・意思疎通はなされているか	4 ③ 2 1
・教職員の協調性は十分か	④ 3 2 1
・各業務の効率化は図られているか	4 ③ 2 1
・学校の特色を把握しているか	④ 3 2 1
・特色ある学校運営に取り組んでいるか	4 ③ 2 1

### ① 学校の基本的な考え方および現状

学則は適切な内容であることを確認し、必要があれば内容を変更し届け出をしている。また微調整が必要な部分が生じ、細則で対応できる範囲ならば細則を変更し適切なものとなるよう努めている。生活の心得を教職員、全校生徒に配布している。新入生ガイダンスでは学則の説明を徹底して行っている。意志決定は校務分掌に従って行われている。教職員の情報伝達・意思疎通は毎朝の職員朝礼、前期・後期の境目での職員会議で行っている。また教職員の意思疎通はフェイスツーフェイスが理想であり必要なときは全体会議を積極的に実施している。本校の特色は少人数制によるきめ細やかな指導が基礎であると考え、全教職員がクラス・学年の枠を越え全学生を把握出来るよう情報共有につとめている。また学校法人の特色としては姉妹校におかや山陽高校があり、高等学校設置科に三級自動車整備士を養成する自動車科があることも挙げられる。本校設置趣旨も高校3カ年の教育と併せ5カ年で二級自動車整備士（現在では7カ年で一級）を育成することであった。学生の9割が自宅通学圏から通っており地元の学生が多いのも特色である。そのため卒業生が頻繁に訪れてくれ卒業後の情報や要望を学校教育に反映しやすいと考える。留学生を積極的に受け入れる学校が多い中、留学生を受け入れていないのも本校の特色であると考え。一級自動車整備科では、3年次4年次にサービスマネジメント授業として板金塗装を取り入れいているのが大きな特徴である。その集大成として卒業作品でカスタムペイントカーを作成している。国際性の涵養のため開校時より2年時にはアメリカ西海岸研修旅行を実施している。

### ② 今後の課題・改善点

教職員が少人数であるため校務の兼務が多く、明確化されていないまたは明確化しにくい部分がある。職員朝礼以外でも放課後や夏期休業時などを積極的に利用し、全教職員が日々顔を合わせる機会を増やすようにしたい。職員室が分散しているため情報共有がしづらい面も見られる。可能な限り意思疎通・情報共有の向上に努めたい。今後留学生の問い合わせが益々増えていくことが予想されるのでその対応も検討していかななくてはならない。特色教育の一環として一般教養、専門科目名を個別授業科目名をより時代に合う名称に改善し、内容共により学生にとって理解しやすいものに変えていくことを計画している。

### (3)教育活動

評価項目	適切・・・4, ほぼ適切・・・3, やや不適切・・・2, 不適切・・・1			
・各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界のニーズに向け正しく方向付けられているか	④	3	2	1
・修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか	④	3	2	1
・カリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
・各科目は、カリキュラムの中で適正に位置づけられているか	④	3	2	1
・各科目・教科の目的・目標は定められているか	④	3	2	1
・キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育が実施されているか	④	3	2	1
・教員による授業評価の実施・評価体制はあるか	4	③	2	1
・学生による授業評価の実施・評価体制はあるか	4	③	2	1
・育成目標に向け授業を行うことができる教員を確保しているか	④	3	2	1
・教員のスキルアップは図られているか	4	③	2	1
・教員研修は十分に実施されているか	4	③	2	1
・成績評価の基準は明確化されているか	④	3	2	1
・履修時間数管理は適切にされているか	④	3	2	1
・資格取得の指導体制は整っているか	④	3	2	1
・成績不良の学生支援は適切になされているか	④	3	2	1

#### ①学校の基本的な考え方および現状

カリキュラムは国土交通省一種養成施設基準に沿った内容である。その中で本校独自に工夫して、より教育目標・育成人材像に近づくよう適切に方向付け編成していく。

1年終了時には二級自動車整備士知識修得へ関連づけられる、三級自動車整備士程度の知識の獲得、2年終了時には二級自動車整備士国家試験合格及び相応の技術力習得を第一の目標とする。

教員の研修については全国自動車大学校整備専門学校協会の研修等可能な限り参加している。

教員同士での研究授業も重要であり実施して行きたい。

時間数管理は5分刻みで行っており、履修時間不足が発生した場合は有償で補習を実施している。

成績は優80点以上、良79～70点、可69～60、以下不可となっているが、一級自動車整備士の学生に関しては80点以下で無償の再試験を実施している。

成績不良の学生は放課後、夏期休業、秋期休業等を利用し無償で補習を実施している。

平成29年度より2年生の前期終了時に岡自大校内実技検定(作業・技術能力確認テスト)を実施し筆記試験のみならず体系的な実技試験(検定)も実施している。

資格要件を備えた教員が常勤として11名在籍しておりそのうち8名が一級自動車整備士の資格を有している。

#### ②今後の課題・改善点

卒業生来校時のアンケートによると現場のニーズと学校での実際の実習に若干のずれが感じられるが、一種養成施設の性質上、資格取得を第一目的に置いたため現場作業とのずれが生じるのも仕方がない面もある。ただできる限り即戦力になれるよう卒業生の声を取り入れ学校教育に還元していきたい。

以前は夏期休業を利用し研究授業を頻繁に行っていたが現在は資格取得指導・補習等で実施出来ていない。

今年度より新たな取り組みとして、おかやま山陽高校の研究授業へ参加し、教科教育の指導力向上、および教員のスキルアップを図っていく予定である。

#### (4)教育成果

評価項目	適切・・・4, ほぼ適切・・・3, やや不適切・・・2, 不適切・・・1
・一級小型自動車整備士の合格率	4 ③ 2 1
・二級ガソリン自動車整備士の合格率	④ 3 2 1
・二級ジーゼル自動車整備士の合格率	④ 3 2 1
・二級二輪自動車整備士の合格率	4 3 ② 1
・その他各種資格の合格率	4 ③ 2 1
・関連業界への就職率	④ 3 2 1
・各資格合格率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・関連業界就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・退学率低減が図られているか	④ 3 2 1
・退学率低減への具体策はあるか	4 ③ 2 1
・卒業生の社会的活躍を把握しているか	4 ③ 2 1
・卒業生からの学校評価を把握しているか	4 ③ 2 1

##### ①学校の基本的な考え方

就職においては関連業界への就職100%がキープできている。二級自動車整備士登録試験においては18年連続で100%合格を達成している。一級は平成30年度100%合格を再達成することにより、一級課程開設以降平均合格率が81.4%と改善された。

進路担当による年一回の定期企業訪問を実施し、過去5年間の卒業生の就業状況を確認している。さらに毎年1月に実施される合同企業説明会では、各社の人事担当よりヒヤリング調査を実施し卒業生の現状把握に努めている。本校では一級自動車整備科のみならず二級自動車整備科でも全員に内定先でのインターンを実施している。その報告日誌で学生の企業先での状況・評価を在学中に把握し指導することで、卒業後に反省点を生かしよりよい就業評価が得られる事を期待している。

卒業生による学校評価に関しては地元出身の学生が多いことの強みを生かし、来校した卒業生に対しての学校評価のアンケートを実施している。退学率低減については参観日、学校開放デー、12月の保護者懇談、また必要に応じての懇談を実施し保護者と学校との情報共有をできる限り緊密にし、未然に退学を防ぐ努力をしている。

学生募集の高等学校訪問時本人の同意を得た上で成績・生活態度等全般にわたり在学生の状況を出身校進路課等へ積極的に伝え、情報交換することにより退学者軽減に繋がると考える。

##### ②今後の課題・改善点および現状

二級に関しては今後もキープ出来るよう、一級に関しては100%合格が標準になるよう引き続き努力が必要。就職に関しては整備士不足により今後も慢性的な売り手市場となりそうであるが、時代の変化にかかわらず学生の社会人教育、キャリア教育を強化していきたい。

退学率0%を目標に今後も学生に対してのきめ細やかなケア、保護者との連携を実施していく。

年々学生の価値観や退学理由の多様化が見受けられるが、今後もHYPERQUテストやSPI等学生の特性把握のためのツールを積極的に活用していきたい。

### (5) 学生支援及び保護者との連携

評価項目	適切・・・4, ほぼ適切・・・3, やや不適切・・・2, 不適切・・・1			
・学生相談に関する体制は整備されているか	4	③	2	1
・学業指導体制は整備されているか	④	3	2	1
・就職指導体制は整備されているか	④	3	2	1
・個人的適応指導は整備されているか	4	③	2	1
・社会性指導は整備されているか	④	3	2	1
・学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	③	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
・学生寮は整備されているか	4	③	2	1
・学生食堂は整備されているか	4	③	2	1
・保護者とは適切に連携しているか	4	③	2	1

#### ①学校の基本的な考え方および現状

学業、私生活、進路全てが学生指導の重要項目である。学生がそれらについて気兼ねなく相談できる環境が必要である。学習成果を上げるためにも学生の個人的適応指導、社会性指導は重要視している。これら全ての基礎となるのは学生が心身共に健康であることが最も重要である。

また校医が勤務する鴨方第一病院は本校より徒歩5分の位置にあり何かあったとき迅速に対応してもらえる体制を整えている。

学生の経済的支援に関しては日本学生支援機構の奨学金を利用している。本校独自の奨学金としては、人物・成績共に優秀な者への特別奨学金授与、兄弟入学生への奨学金授与、また通学困難で入寮する学生には学費の一部を免除する寮生特待生制度がある。

保護者との連携は保護者参観日、学校開放デー、12月の保護者懇談を実施している。これらの行事を通じ本校スローガンである学校への「保護者信頼度向上」の達成を目指している。

平成29年度より新入生にHYPERQUテストを実施し、客観的に学生の学級内での立場や心理状況などを把握出来るよう取り組んでいる。

社会性指導についてはJAMCAソーシャル検定の受験に備え、全学生が放課後の特別事前指導によって学習している。また進路指導の授業だけでなく、日々の学生生活の中でマナーや挨拶の指導は積極的に行っている。学業指導については教育活動項目を参照していただきたい。

学生食堂は、おかやま山陽高校と契約している業者が運営してくれているため少人数規模の学校でも充実した昼食提供が出来る。

#### ②今後の課題・改善点

学生・保護者からの要望ニーズに合わせ今後もスローガン達成のために取り組んでいきたい。

また学生一人一人の個性・能力を分析した上でそれらに適合した指導を心がけていきたい。

学生寮はワンルームタイプの個人部屋を25000円の家賃で提供しているが、築30年になり老朽化が目立つようになってきた。学生の要望や必要に応じてリフォーム等へ取り組んでいく必要がある。

今年度より高等教育無償化制度が実現し岡山自動車大学校も現在申請中である。

**(6)教育環境**

評価項目	適切・・・4, ほぼ適切・・・3, やや不適切・・・2, 不適切・・・1			
・施設・設備は、教育上十分に整備されているか	④	3	2	1
・女子学生に対する設備は整備されているか	4	③	2	1
・学校行事を通じ学生間の交流が図られているか	4	③	2	1
・課外活動・海外研修等の体制は整備されているか	4	③	2	1
・インターンシップ制度は整備されているか	④	3	2	1
・校内は清潔に保たれているか	④	3	2	1
・安全管理は適切になされているか	④	3	2	1
・防災体制は整備されているか	④	3	2	1
・通学の利便性に配慮出来ているか	④	3	2	1
・学生の健康維持のための施設・設備はあるか	④	3	2	1

**①学校の基本的な考え方および現状**

施設設備の充実は教育上非常に重要であると考え、一種養成施設の設置基準以上の環境を常に意識して環境整備につとめている。上記項目についてはおおむね適切な施設設備である。

実習車両は国交省基準の3倍の台数を保有し、平成29年度にはシャシダイナモメーター、外部診断機の増設など新たに必要となる設備を導入した。女子学生には専用更衣室がありドレッサーも完備している。全校行事としては年二回の球技大会を実施し前期はソフトボール、バレーボール大会、後期はボーリング大会を実施し学生間交流に努めている。課外活動はクラブカーズがありいつでも希望する学生は参加できる環境にある。通学については電車、自動車、オートバイいずれの手段でも通学可能となっている。

学生健康維持のためにトレーニングルームを完備している。

平成29年度学校創立30周年記念事業として上記最新式シャシダイナモメーターを設置した他、学生・教員の健康面に配慮し黒板を撤去し、全てホワイトボードにすることによってチョークの使用を廃止した。

また、学習効率化のため全教室にプロジェクターを導入した。

(3)～(6)に関して卒業生の感想をフィードバックするため卒業生が来校時に全員に学校評価アンケートを実施している。

平成30年度新たに外部診断機6台、令和元年にはシャシダイナモ実習専用の実習車両、騒音振動計を導入予定。

**②今後の課題・改善点**

適宜必要な物は整備していく。しかし、今後益々自動車技術の進歩が早まることや、少子化で学生数が減少し収入が減ると予測されるなか、コストがかかる設備整備には慎重に対応していきたい。



### (7) 学生募集・受入・入試制度

評価項目	適切・・・4, ほぼ適切・・・3, やや不適切・・・2, 不適切・・・1			
・学生募集は適正に行われているか	④	3	2	1
・学生募集において学校の現状は正確に伝えられているか	④	3	2	1
・学生募集において教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
・入学選考は適正かつ公平な基準に基づいて行われているか	④	3	2	1
・授業料等納付金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1
・費用面について正確に伝えられているか	④	3	2	1

#### ①学校の基本的な考え方

教職員による高等学校訪問、体験入学、広報業者媒体、広報業者主催の説明会・資料請求システム、公式HPでの情報提供・情報開示・資料請求が学生募集活動の中心となっている。また高校訪問時には学生本人の承諾を得た上で、高等学校へ在学状況をできるだけ詳細に報告するようにしている。  
入学ミスマッチを防ぐため、学生募集・及び入試制度は重要な位置にあると考える。  
本校ではAO入試は実施しておらず、基礎的な学力適性検査、そして面接を実施し合否を判定している。学生募集においては本校をより深く理解してもらうため、出来る限りの情報は伝えるようにしている。  
費用面は妥当であると考え、また授業料以外の必要経費についても正確に伝えている。  
岡山自動車大学校の学生募集は透明性と高等学校の視点にたっただうあるべきかを重要視している。

#### ②今後の課題・改善点

少子化のため今後益々学生募集にはコストがかかるが、公正な学生募集・入試を実施していきたい。  
若者の車離れが益々深刻になっている現在、自動車整備士の重要性をさらに告知していきたい。  
留学生を受け入れるか否かの判断が今後は問われる。  
おかやま山陽高等学校オープンキャンパスとのコラボ企画を検討中である。

### (8) 財務

評価項目	適切・・・4, ほぼ適切・・・3, やや不適切・・・2, 不適切・・・1			
・中長期的に財務基盤は安定しているか	④	3	2	1
・予算・収支計画は妥当なものとなっているか	④	3	2	1
・会計監査がきちんとなされているか	④	3	2	1
・財務情報公開は適正にされているか	④	3	2	1

#### ①学校の基本的な考え方および現状

財務状況は安定しており、学校法人で適切な会計監査を受けている。

#### ②今後の課題・改善点

引き続き安定かつ健在な財務状況を維持していくこと。

### (9) 法令等の遵守

評価項目	適切・・・4, ほぼ適切・・・3, やや不適切・・・2, 不適切・・・1			
・法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
・自己点検・自己評価の実施と問題点の改善につとめているか	④	3	2	1
・自己点検・自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

#### ①学校の基本的な考え方および現状

国土交通省・陸運局の指導に従い適切であると考えている。  
個人情報保護にも細心の注意を払っている。  
平成28年度には文部科学省の委託事業として試験的に第三者評価を受審し、良好な評価を得られた。

#### ②今後の課題・改善点

法令は変化するので対応出来るよう情報収集を怠らない。

### (10) 社会貢献

評価項目	適切・・・4, ほぼ適切・・・3, やや不適切・・・2, 不適切・・・1			
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	③	2	1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	③	2	1

#### ①学校の基本的な考え方および現状

校外実習場を労働基準協会の講習用に貸し出しており、地域への貢献になっている。  
授業時間数が過剰なため積極的にボランティア活動参加への支援はしていない。  
休日等を利用しての活動に関しては自主性に任せている。  
学校全体では献血活動を毎年実施している。

#### ②今後の課題・改善点

## 4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

総合的にはおおむね良好であると自己評価する。細かな問題や改善点にも注目し、真摯に受け入れ、それら一つ一つを解決していく上でよりよい教育機関を目指していきたい。  
本校の基本的運営方針は、「岡山自動車大学校の具体的な教育目標・スローガン・育成人材像を現実化するべく邁進する。全教職員が自らの使命・役割を認識した上で、現状を分析し、将来予測を踏まえた上で学校の教育目標・育成人材像の実現に向けて解決すべき課題が何であるかを究明し、解決するための方策を練り、それに沿った具体的な行動を明らかにするPDCAサイクル手法により、継続的な改善が出来るよう定期的に成果を意識し取組を職員会議等でチェックしていく。」である。この運営方針の下、年度ごとに前期・後期の事業計画を作成し、目標達成出来るように努力している。  
中長期的には少子化による学生募集環境の悪化が最大の懸念事項であるが、現在と同様透明性の高い学生募集を基本とした上で、教育の質保証、教育環境整備を最優先にして対処していきたい。現在本校では留学生の受入はしておらず、当面は現状維持を考えているが、今後の状況次第では選択肢の一つにもなり得る。  
今後も経営バランスシートを考慮し自動車整備の現状を踏まえ、時代のニーズに合った整備士を育成していくため随時新たな設備・機器等を積極的に導入していきたい。  
岡山自動車大学校の社会的責任は、より高度な教育を受けた自動車整備士を社会に送り出し社会に貢献することである。同時に自動車整備士の社会的地位向上にも貢献していきたいと考える。  
全国自動車大学校整備専門学校協会の共通認識でもある、「国民の安全と生命を守るのが自動車整備士の使命である」という概念を広く社会一般の共通認識として流布していきたい。